

洗礼準備会

熊本聖書フォーラム

2020年4月

1

洗礼準備会の日程

- 4月12日 10：30 洗礼とキリストの弟子
- 5月10日 10：30 洗礼が象徴する5つのこと
- 6月13日 10：30 質疑応答 証し文の提出

2

洗礼式の日程

• 7月11日 13:00 [Redacted]

• 7月25日 13:00 [Redacted]

洗礼式は、清水自宅のお風呂場を使用します。
受洗者は、白っぽいTシャツなどを着用ください。
洗礼式終了後は、お湯のシャワーで体を温め、
すぐに着替えをしていただきます。

3

洗礼は罪や汚れを洗い流すものではない

- 人は神を信じたとき、すべての罪と汚れから清められた
- これを「救われる」または「義と認められる」という
- 洗礼は、すでに救われた信者が受けるもの
- バプティゾー（動詞）＝あるものを水などの中に沈める
 - 使徒1:5（直訳）「ヨハネは水の中にバプティゾーしたが、あなたがたは聖霊の中にバプティゾーされるであろう、もう間もなく」

4

救われる（義と認められる）条件

- 人は、**信仰**を通して、神の**恵み**によって救われる
- 自分の行いによるのではない
- 創世記15：5～6 主のことばとアブラハムの信仰
 - 「さあ、天を見上げなさい。星を数えることができるなら、それを数えなさい。」
 - 「あなたの子孫はこのようになる。」
 - アブラハムは主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。

5

何を信じるのか

- 主のことば→聖書による啓示は、時代によって進展してきた
- よって、信仰の内容は、時代によって変わる
- 今の時代の信仰の内容は、**福音の3要素**（I コリ15：3～4）
 - キリストは、私たちの罪のために死なれたこと（贖罪の死）
 - キリストは、墓に葬られたこと（仮死ではなかった・無罪）
 - キリストは、3日目によみがえられたこと（復活・永遠の体）

6

洗礼を受ける資格

- 信仰を通して、神の恵みによって救われた人
- その信仰の内容は、福音の3要素
- キリストを信頼し、これからの人生をキリストに従って歩みたいと願う人
 - こういう人を「キリストの弟子」という

7

キリストの弟子

- 信じるとは、単なる知識ではない
- 信じるとは、イエス・キリストを信頼すること（ロマ10：11）
- イエス・キリストを信頼すると、その人はどうなるか
 - 自分の人生をキリストにゆだねる
 - キリストに従うことを喜びとして人生を歩んでいきたい
- 洗礼は、キリストの弟子となることを表明する礼典（マタイ28：19～20）

8

キリストの弟子が負う荷は軽い

- マタイ11：28～30
- 29「わたしは心優しく、へりくだっているから」
- 30「わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽い」
- イエスの昇天の後は、さらに軽い
 - 聖霊の助け（ヨハネ14：16、16：7）
 - イエスによるとりなし（ヘブル7：24～25）

9

証し文とは

- 信仰を持つに至った自分の体験を書く
- 初心を振り返るときのために（黙2：4～5、3：3）
- 他の人への励ましのために（Iテサ1：2～10）

10

証し文の内容

- 教えられたこと
- 体験したこと
- これらを書くことを通して、神の素晴らしさ（愛、恵み、聖さなど）を証言する
- 原稿用紙3～4枚（1200～1600字程度、超えても可）

11

証し文の構成（起承転結）

- 起：救いを受ける前の自分
- 承：救いに至る過程や出来事
- 転：信じた内容
- 結：救いを受けたあとの変化

12

証し文を書く時の注意

- ありのまま、自分の言葉で
- 大げさな表現、説教調や説得調は、避ける
- 要点を絞る（自叙伝にならないように）
- 自分の失敗や弱さを隠す必要はないが、そればかりは無意味
 - 人は誰しも罪人であり、汚れている
 - そこから神が救ってくださったことの喜びや感謝が伝わればよい
 - 証し文は、自分の罪に関する証言ではなく、神が自分にどれほどのことをしてくださったのかという証言